

「地域と学校の新しいカンケイ」～WIN WIN より Happy Happy～

【11月15日放送内容】

DJ：今回は、立花南小学校の活動について、立花南小学校のコーディネーターの秀島さんと、社会教育課の増田さんにお話をお伺いします。お二方、よろしくお願いします。

秀島・増田：よろしくお願いします。

DJ：さて、まずは秀島さん。立花南小学校は、平成29年度に学校や子どもたちを支えるHappy 応援ネット(地域学校協働本部)を設置し、学校環境と子どもたちの安全を守ることを中心に活動を行われているんですけども、どのような方々が関わっていらっしゃるんですか。

秀島：はい。立花南小学校では、ずっと前から、地域や保護者で学校を支援する活動が盛んで、大西町見守り隊、ひまわりパートⅡ、スポーツクラブ21、図書ボランティア、おやじの会、PTA、(PTA)OB会、同窓会など地域の方々が関わってくださっています。

DJ：たくさんの方が子どもたちを支えてくださっているんですね。では、子どもたちの安全を守る活動についてご紹介いただけますか。

秀島：はい。登下校の見守り活動についてご紹介します。立花南小学校は、大西町見守り隊とPTAが連携して、子どもたちの安全を守っています。大西町見守り隊は、大西町にお住まいの方、約30名で構成され活動しています。PTAの保護者の皆さんも、自分用の黄色い旗を持って道路に立ち、子どもたちを見守っています。

DJ：保護者の皆さんは、家に黄色い旗があるんですね。

秀島：そうなんです。保護者の皆さんが、少しの空いた時間でも見守りができるよう、PTAから保護者一人一人に黄色い横断旗が配られています。

DJ：なるほど。皆さんは、どのように見守りをされているのですか。

秀島：見守り隊は、月曜日から金曜日の毎日、子どもたちが登校する7時40分から8時20分までと、下校時の午後2時40分から4時30分の時間帯に見守り場所を決めて子どもたちを見守っています。

DJ：そうなんです。秀島さんも、毎朝交差点に立って、子どもたちを見守っておられるとお聞きしましたが、夏の暑い時期やこれからの寒い時期はやっぱり大変ですよ。

秀島：子どもたちが、安全に登下校できることがなによりの喜びです。そして、子どもたちが元気な声で「おはようございます」とか「ただいま」という挨拶を返してくれると嬉しくて、やりがいを感じます。

DJ：そうなんです。登下校の見守りのほか、子どもたちの安全を守る活動はありますか。

秀島：コロナ禍において、地域では放課後に子どもたちが過ごしている、学校近くの公園の遊具などの消毒作業をしました。また、昨年小学校が休校になった時、子どもたちが自宅で過ごしているか、外に出ている子がいなか、巡回したグループもあります。

DJ：そうなんですか。地域の皆さんや PTA の方がこうして立花南小学校の子どもたちのことをとても大切に思っているというところが良くわかりますね、増田さん。

増田：はい、そうなんです。立花南小学校は、たくさんの地域の方に支えていただいています。見守りのほかに、学校の花壇を花でいっぱいにしてくださる方もおられるんですよ。

秀島：ひまわりパートⅡの皆さんは、地域でお花を育てるのが好きな人たちの集まりで、学校をきれいな花でいっぱいにしたいという学校の願いに応えて、校内の花壇や学校の周りにお花を植えてくださっています。学校の門を入ると、四季折々の花に迎えられ、温かい気持ちになり、癒されます。

増田：実は、私が7年前に立花南小学校にいた時、地域の方に花壇を2ブロックほどお貸ししたことから始まりました。学校には花壇がたくさんありますが、管理ができず雑草の生えている花壇が目立つので、せっかくの花壇をきれいな花で埋め尽くすことができたらいなと思って、地域の方をお願いしました。

秀島：ひまわりパートⅡの皆さんは、お花の世話、水やりや雑草を抜く作業など、春休み・夏休み・長期の休みにも日にちを決めて、お世話をしてくださっています。

増田：また、今年は授業の中でチューリップを育てることも関わっていただくことができましたよね。

秀島：そうなんです。1年生が授業でチューリップの球根を植えましたが、ひまわりパートⅡの皆さんが、植える前の土づくりをしてくださり、子どもたちが植えるときにもそばについて教えてくださるなど、先生方にとっても好評でした。

増田：立花南小学校は、コミュニティ・スクールになり、これまで以上に地域と学校の関係が深まって、子どもたちを支える活動も学校外の活動から、授業に関わる活動にも広がってきましたよね。

秀島：はい。家庭科の授業で裁縫や調理実習の補助も始まりました。5年生が授業でナップサックや座布団の作成とか、調理実習では包丁の使い方、ジャガイモの皮のむき方、芽の取り方など、地域の方が子どもたち一人一人の手元を見ながら「できるかな?」「上手だね」と声をかけたり、困ったりしたときには優しく教えたりしています。また、クラブ活動のお手伝いで、スポーツクラブ21による卓球指導等を行っています。加えて11月からは1年生を募って体力増強のため、「放課後卓球教室」を行うことになっています。

DJ：そうなんですね。やっぱり家庭科の授業中やそういったクラブ活動などで、わからない時にすぐに聞けるというのは、とてもいいですね。実際に子どもたちの反応はいかがですか。

秀島：子どもたちは、「優しくてわかりやすい。説明してくれて作業が早くできたし、先生から習っていないこともできるようになって嬉しい」と、とても喜んでいました。

DJ：調理実習では、火を使ったり、包丁を使ったりするので、安全に調理できるように地域の方が見守ってくださると先生にとっても非常に有難いことですよね、増田さん。

増田：そうなんです。授業が終わった後、担任の先生に「地域の方に来ていただいてどうでしたか」とお聞きすると、「一人でナップサックづくりと座布団づくりや調理実習を指導できるのかなと不安でしたが、地域の方がサポートして下さり、子どもたちだけでなく、私もって、とっても助かりました。」とおっしゃっていました。

DJ：本当にみんなが Happy になれる取組ですね。さて、立花南小学校では、他の学校にはない取組みを地域の方とされているとお聞きしたんですが、秀島さんどのような取組みなんですか。

秀島：メダカの学校の取り組みです。

DJ：メダカの学校？初めて聞きましたが、増田さん、詳しく教えてください。

増田：はい。立花南小学校では、宇宙メダカを飼育しているんですよ。宇宙メダカとは、1994年7月に宇宙に行ったスペースシャトルの無重力状態のなかで誕生したメダカのことです。地域で宇宙メダカの研究をしている方に宇宙メダカをいただき、その子孫を飼育しているんですよ。

秀島：地域で宇宙メダカを研究している方の紹介で、宇宙メダカ研究の第1人者の東京大学名誉教授の井尻憲一さんをお迎えして、「メダカの学校『宇宙メダカ』のことをもっと知ろう」をテーマに、3年生、4年生の児童にお話をさせていただいたこともあります。

DJ：そうなんですね。宇宙メダカは初めて聞きました。学校で宇宙メダカを飼育しているっていうこともすごいですし、宇宙メダカの研究者の第1人者のお話を聞けるっていうのも、とても貴重な経験ではないでしょうか。これからも、地域の方がお持ちの知識やスキルで子どもたちの学びを充実させて、立花南小学校と地域の方々の連携、そして協働が進んでいくといいですね。さて、今回は立花南小学校のコーディネーターの秀島さんと、社会教育課の増田さんにお話をお伺いしました。お二方、どうもありがとうございました。

秀島・増田：ありがとうございました。

DJ：さて、今回は「体験型の武庫庄小学校の地域学校協働活動」というテーマで、地域と学校が連携している武庫庄小学校の活動について、武庫庄小学校のコーディネーターの西村さんと増田さんとの3人でお送りいたします。それでは、次回の放送もどうぞ楽しみに。